

ダクト用温度発信器

FKA-TEX



FKA-TEX

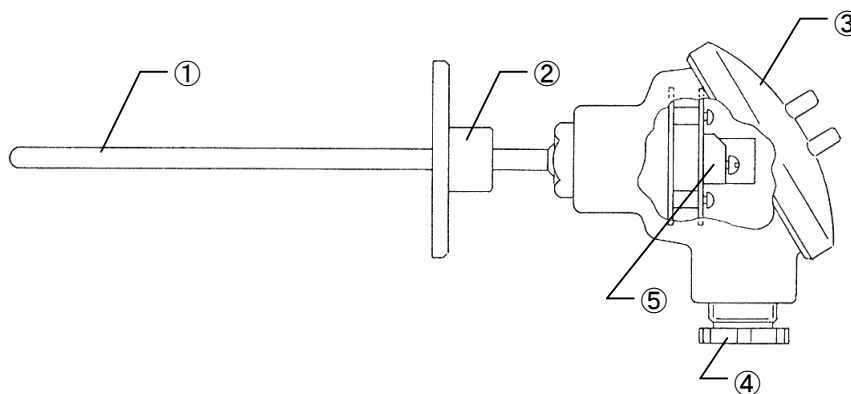
用途

ダクト型温度発信器 FKA-TEX は、温度検出部としてセラミック封入形白金測温抵抗体素子を使用し、電子回路部により検出温度に相当した電流信号を出力する一体型の温度発信器です。

型番一覧

本体型番
FKA-TEX

発信器の構成

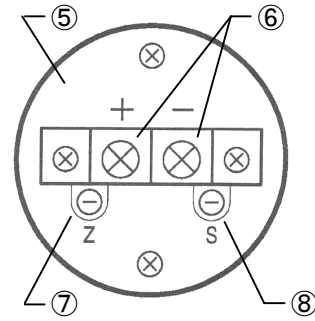


- ① : 検出端シース部分
- ② : ルーズフランジ
- ③ : 端子BOX及びキャップ
- ④ : ケーブル・コネクタ部分 (PF1/2)
- ⑤ : 発信器回路基板 (端子BOX内)

検出端シース①の先端部分に白金測温抵抗体素子が挿入されています。素子は、3線式で端子BOX③内部の発信器回路基板⑤に接続されています。基板の電子回路により検出温度は、電流信号に変換され配線接続端子⑥に出力されます。

発信器端子 BOX 内 回路基板

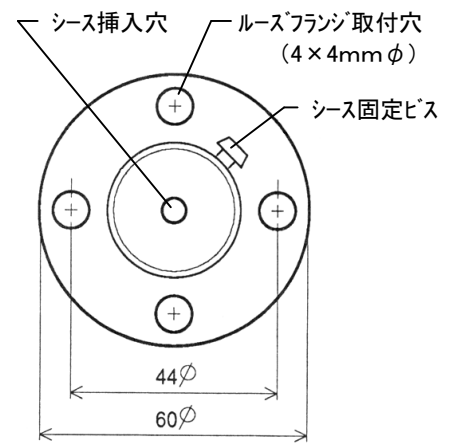
- ⑥ : 配線接続端子 (+, -)
- ⑦ : ゼロ調整トリマ (Z)
- ⑧ : スパン調整トリマ (S)



発信器の取付

発信器をダクトに取付ける場合には基本的に検出端シース部が水平となるような位置(ダクト側面)に取付けて下さい。発信器の取付は、ルーズフランジを使用しダクトに取付けます。

シース部分の外形は、(6.5mm)です。ダクトに(7~9mm)の穴をあけ、ルーズフランジの中央の穴がその位置になるようルーズフランジをダクトにビス止めした後に発信器をフランジに差込み固定します。



ルーズフランジ外形図

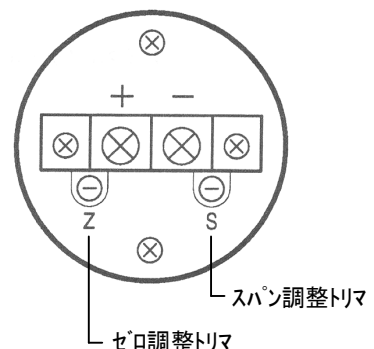
メンテナンス および 校正

発信器の精度を保つためには、定期的なメンテナンスが必要です。定期的なメンテナンスとしては、アスマン温湿度計による比較チェックによる確認作業があります。基準となるアスマン温湿度計については、その性能および保管上また取扱上の注意等、十分考慮した上で使用してください。

確認作業を行った上で、発信器の校正が必要と判断された場合には、校正を行う必要があります。

《湿度の校正》

湿度の校正は、基本的に発信器より出力される電流信号を発信器側 または 受信側で調整する方法があります。

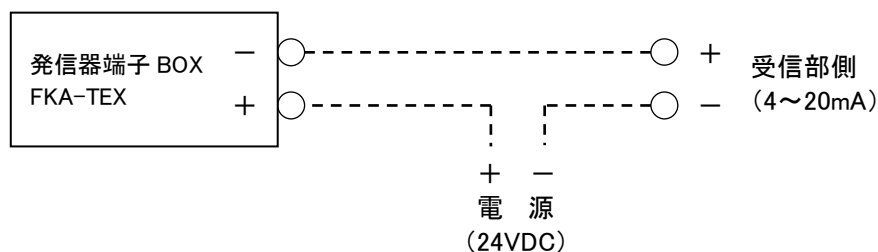


技術データ

検出素子	セラミック封入形白金測温抵抗体 (Pt100Ω JIS : A級)
温度レンジ	-50~50℃ (出力信号 FS)
検出精度	±0.75% (変換器精度 FS)
供給電源	15~30VDC (標準24VDC)
出力信号	4~20mA DC (-50~+50℃ FS)
負荷抵抗	0~500Ω (24VDCにおいて)
配線接続	2線式 端子接続
使用温度範囲	
検出端部分	-10~60℃
発信器回路部分	0~50℃
材質	
検出端 (シース部分)	SUS304
端子BOX	アルミダイキャスト
ルーズフランジ	アルミ

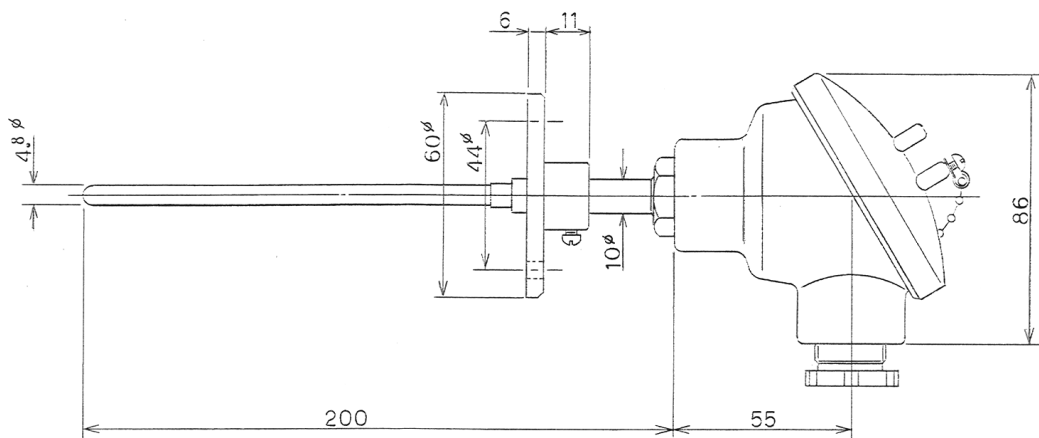
発信器への配線

下記に発信器の出力端子および外部電源、受信部側の配線例を示します。



注意 : 配線 (ケーブル) は、基本的にシールド付ケーブルを使用してください。
シールドは、受信部側で設定してください。

外形寸法(単位mm)



アーチバック株式会社
URL: www.archvac.co.jp/

本社 〒211-0012
神奈川県川崎市中原区中丸子 174 番地 平山ファインテクノ 2 階
TEL: 044-455-9111 (代) FAX: 044-455-1050
札幌営業所 〒003-0027
札幌市白石区本通 19 丁目北 1 番 86 号
東テク北海道株式会社 本社ビル内
TEL: 011-799-1946 FAX: 011-799-1947

2020-07 版

記載内容はお断り無く変更する場合があります。